

平成19年12月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年5月9日

上場会社名

旭硝子株式会社

(コード番号: 5201 東大)

(URL <http://www.agc.co.jp>)

代表者 代表取締役・社長執行役員 門松 正宏

問合せ先責任者 広報・IR室長

川上 真一

TEL: (03)3218-5509

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 法人税等の計上基準等に一部簡便な手続きを用いております。
 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(新規)1社(除外)11社 持分法(新規)-社(除外)2社
 連結範囲及び持分法の適用に関する事項 連結子会社数 229社 持分法適用会社数 32社

2. 平成19年12月期第1四半期の財務・業績の概況(平成19年1月1日~平成19年3月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第1四半期	389,977	0.5	43,461	34.9	41,301	27.6	29,448	38.0
18年12月期第1四半期	391,857	9.3	32,219	0.5	32,363	4.0	21,342	7.7
(参考)18年12月期	1,620,540		136,611		134,498		44,997	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年12月期第1四半期	25.11	23.60
18年12月期第1四半期	18.20	17.16
(参考)18年12月期	38.37	36.61

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年12月期第1四半期	2,207,189	1,019,160	42.6	801.81
18年12月期第1四半期	2,134,764	886,063	41.5	755.47
(参考)18年12月期	2,149,546	991,751	42.4	776.26

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年12月期第1四半期	36,281	53,459	25,638	60,366
18年12月期第1四半期	30,001	36,416	8,789	56,707
(参考)18年12月期	173,997	212,477	35,880	52,627

3. 平成19年12月期の連結業績予想(平成19年1月1日~平成19年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	810,000	80,000	44,000
通期	1,670,000	170,000	90,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 76円73銭

平成18年12月期決算発表時(平成19年2月5日)の予想から変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。

経営成績の進捗に関する定性的情報

1. 2007年12月期第1四半期の概況

当第1四半期(2007年1月1日から2007年3月31日まで)の日本経済は、原油をはじめとする原燃材料価格の高止まりや、量的緩和解除による金利上昇など懸念材料は残るものの、設備投資の増加や雇用機会の創出など、景気は緩やかな回復基調にあり、輸出や個人消費も堅調に推移しました。アジアにおいては、ASEAN諸国や中国経済が高い成長を維持する一方で、NIEsではIT・デジタル分野を中心に減速がみられました。欧州においては、ロシア・東欧の経済は引き続き堅調を維持し、西欧においても個人消費は伸長しました。米国経済は、住宅市場の低迷など景気への不安材料を抱えながらも、底堅く推移しました。

当社グループの関連市場におきましては、ブラウン管(CRT)用ガラスの市況は引き続き低調でしたが、フラットパネルディスプレイ(FPD)用ガラス基板の市況は不要期のなか、比較的堅調に推移しました。ガラス事業については、板ガラスの市況はアジアの一部地域において軟調でしたが、欧州では好調に推移しました。化学事業では、製品市況に若干の回復がみられました。

このような状況のなか、当社グループの当第1四半期の売上高は前年同期比19億円(0.5%)減の3,900億円、営業利益は同112億円(34.9%)増の435億円、経常利益は同89億円(27.6%)増の413億円、四半期純利益は同81億円(38.0%)増の294億円となりました。

2. 2007年12月期第1四半期セグメント別の概況

ガラス事業

ガラス事業は、グローバルに事業を展開する板ガラス部門と自動車ガラス部門、及び、主に日本で事業を展開するガラス繊維製品などのその他ガラス部門から構成されています。

板ガラス部門は、欧州での市況好調が継続したことにより、前年同期と比べ増収となりました。ロシアなど新興市場における板ガラスの出荷は堅調に推移し、西欧での需要も引き続き旺盛でした。一方、アジアにおいては中国安値品流入の影響を受け、市況は軟調でした。また、日本及び北米では住宅着工戸数が伸び悩み、出荷に影響しました。

自動車ガラス部門では、グローバルでの自動車生産台数は前年同期並みであったものの、当社グループの出荷は順調に推移し、前年同期と比べ増収となりました。

その他ガラス部門は、旭ファイバーグラス社が2006年3月をもって長繊維事業から撤退したため、前年同期と比べ減収となりました。

以上の結果から、当第1四半期のガラス事業の売上高は前年同期比106億円(5.3%)増の2,110億円、営業利益は同64億円(68.0%)増の158億円になりました。

電子・ディスプレイ事業

電子・ディスプレイ事業は、FPD用ガラス基板やCRT用ガラスを扱うディスプレイ部門と電子部材部門で構成されています。

ディスプレイ部門のうちFPD用ガラス事業については、薄型テレビ用パネルの需要拡大と当該パネルの大型化の進展によって、TFT液晶用ガラス基板を中心に出荷が堅調に推移し、前年同期と比べ増収となりました。特にTFT液晶用ガラス基板については、前年後半に実施した設備修繕が終了したことや新設備の稼働によって、出荷は順調に増加しました。一方、CRT用ガラス事業は、FPDへの需要のシフトが加速し、前年同期と比べ減収となりました。

電子部材部門については、ディスプレイ部材の伸長はやや鈍化しましたが、半導体製造装置の投影用レンズ材となる合成石英の出荷は引き続き好調に推移しました。中小型ディスプレイは、車載用途は堅調に推移したものの、産業用やモバイル用途の不調により前年同期と比べ減収となりました。

以上の結果から、当第1四半期の電子・ディスプレイ事業の売上高は前年同期比188億円(16.1%)減の978億円、営業利益は同33億円(16.9%)増の225億円になりました。

化学事業

化学事業は、苛性ソーダや塩ビモノマーをはじめとするクロールアルカリ製品とウレタン関連素材からなるクロールアルカリ・ウレタン部門、及び、フッ素樹脂、撥水撥油剤等を中心とするフッ素化学製品と電池材料・液晶材料などのスペシャリティ製品からなるフッ素化学・スペシャリティ部門から構成されています。

クロールアルカリ・ウレタン部門は、前年同期に比べ業績は改善しました。特に塩ビ関連製品において、原料であるエチレン価格の高騰が落ち着きつつあることに加え、市況に若干の回復がみられました。

フッ素化学・スペシャリティ部門は、フッ素樹脂、フッ素樹脂フィルム、液晶材料等の出荷が引き続き堅調に推移しました。

以上の結果から、当第1四半期の化学事業の売上高は前年同期比40億円(5.6%)増の762億円、営業利益は同11億円(33.3%)増の43億円になりました。

その他の事業

その他の事業は、セラミックス事業と、物流・エンジニアリング等のサービス事業から構成されています。

セラミックス事業は、ガラスエンジニアリング分野ではアジアでの需要が旺盛であり、環境エネルギー分野では国内の需要が堅調に推移しました。

以上の結果から、当第1四半期のその他の事業の売上高は前年同期比5億円(2.8%)減の185億円、営業利益は同2億円(47.4%)増の7億円になりました。

(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当第1四半期末 平成19年3月31日	前連結会計年度末 平成18年12月31日	前年同四半期末 平成18年3月31日
(資産の部)				
流動資産		736,541	722,824	695,900
現金及び預金		85,958	80,610	73,562
受取手形及び売掛金		296,914	295,078	302,751
たな卸資産		263,919	248,231	259,049
その他の流動資産		96,659	105,999	67,271
貸倒引当金		6,910	7,095	6,734
固定資産		1,470,422	1,426,489	1,438,631
有形固定資産		1,036,211	1,008,116	945,432
無形固定資産		57,011	57,573	98,475
投資有価証券		326,658	311,838	341,542
その他の固定資産		54,247	52,646	57,341
貸倒引当金		3,707	3,685	4,159
繰延資産		226	232	232
資産合計		2,207,189	2,149,546	2,134,764

(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当第1四半期末	前連結会計年度末	前年同四半期末
		平成19年3月31日	平成18年12月31日	平成18年3月31日
(負債の部)				
流動負債		603,828	618,041	610,012
支払債務		252,355	265,546	273,236
社債及び短期借入金		210,466	212,144	185,802
その他の流動負債		141,006	140,351	150,972
固定負債		584,201	539,753	541,354
社債及び長期借入金		400,561	362,735	366,147
その他の固定負債		183,639	177,018	175,207
負債合計		1,188,029	1,157,795	1,151,367
(少数株主持分)				
少数株主持分		-	-	97,334
(資本の部)				
資本		-	-	886,063
資本金		-	-	90,475
資本剰余金		-	-	96,564
利益剰余金		-	-	568,889
土地再評価差額金		-	-	99
その他有価証券評価差額金		-	-	136,956
為替換算調整勘定		-	-	6,813
自己株式		-	-	13,735
負債・少数株主持分・資本合計		-	-	2,134,764
(純資産の部)				
株主資本		776,440	756,424	-
資本金		90,483	90,480	-
資本剰余金		96,571	96,569	-
利益剰余金		603,242	583,176	-
自己株式		13,857	13,802	-
評価・換算差額等		164,007	154,062	-
その他有価証券評価差額金		131,757	123,312	-
繰延ヘッジ損益		1,226	1,038	-
土地再評価差額金		63	63	-
為替換算調整勘定		30,960	31,724	-
新株予約権		1	1	-
少数株主持分		78,710	81,263	-
純資産合計		1,019,160	991,751	-
負債・純資産合計		2,207,189	2,149,546	-

(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期 別	当第 1 四半期 平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日	前年同四半期 平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日	前連結会計年度 平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日
売上高		389,977	391,857	1,620,540
売上原価		279,158	294,922	1,217,654
販売費及び一般管理費		67,357	64,715	266,274
営業利益		43,461	32,219	136,611
営業外収益		5,109	5,498	24,906
受取利息及び配当金		929	775	6,915
持分法による投資利益		1,735	1,073	3,326
その他		2,445	3,649	14,664
営業外費用		7,270	5,354	27,019
支払利息		4,173	3,556	16,704
その他		3,096	1,798	10,315
経常利益		41,301	32,363	134,498
特別利益		8,771	7,973	29,388
特別損失		6,240	10,156	125,595
税金等調整前四半期(当期)純利益		43,831	30,181	38,291
法人税等		13,599	11,366	6,132
少数株主利益(損失)		784	2,527	12,838
四半期(当期)純利益		29,448	21,342	44,997

(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第 1 四半期	前年同四半期	前連結会計年度
		平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日	平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日	平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		43,831	30,181	38,291
減価償却費及びのれん償却額		30,890	31,421	133,843
固定資産減損		-	5,998	45,557
持分法による投資利益		1,735	1,073	3,326
売上債権の減少(増加)額		3,649	9,353	16,908
たな卸資産の減少(増加)額		15,599	18,726	2,990
支払債務の増加(減少)額		10,610	8,455	18,892
その他		327	1,282	28,340
小計		42,801	49,981	243,712
配当金の受取額及び利息の受取、支払額		2,763	1,446	11,152
法人税等の支払額		3,757	18,533	58,563
営業活動によるキャッシュ・フロー		36,281	30,001	173,997
投資活動によるキャッシュ・フロー				
固定資産等の取得による支出		64,873	48,583	242,121
固定資産等の売却による収入		6,778	3,908	14,456
投資有価証券の取得による支出		278	4,016	6,071
投資有価証券の売却による収入		2,745	8,093	26,378
その他		2,168	4,182	5,119
投資活動によるキャッシュ・フロー		53,459	36,416	212,477
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入金及び社債の増加(減少)額		35,736	18,905	56,034
配当金の支払額		10,106	10,050	19,973
その他		8	65	180
財務活動によるキャッシュ・フロー		25,638	8,789	35,880
現金及び現金同等物に係る換算差額		302	403	1,553
現金及び現金同等物の増加(減少)額		8,157	2,777	1,046
現金及び現金同等物の期首残高		52,627	54,006	54,006
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の残高調整		417	76	332
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		60,366	56,707	52,627

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期(平成19年1月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	ガラス	電子・ ディスプレイ	化学	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	210,002	97,318	75,309	7,346	389,977	-	389,977
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,036	529	860	11,187	13,613	(13,613)	-
計	211,038	97,848	76,170	18,533	403,590	(13,613)	389,977
営業費用	195,276	75,377	71,859	17,793	360,307	(13,791)	346,515
営業利益	15,762	22,471	4,310	739	43,283	177	43,461

前年同四半期(平成18年1月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	ガラス	電子・ ディスプレイ	化学	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	198,037	116,375	71,110	6,334	391,857	-	391,857
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,439	258	1,015	12,726	16,439	(16,439)	-
計	200,476	116,634	72,125	19,060	408,297	(16,439)	391,857
営業費用	191,093	97,414	68,891	18,558	375,959	(16,320)	359,638
営業利益	9,383	19,219	3,233	501	32,338	(118)	32,219

2. 所在地別セグメント情報

当第1四半期(平成19年1月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	160,784	83,973	46,137	99,080	389,977	-	389,977
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,406	16,236	2,150	710	64,504	(64,504)	-
計	206,191	100,209	48,288	99,790	454,481	(64,504)	389,977
営業費用	183,459	90,934	49,795	86,524	410,714	(64,198)	346,515
営業利益又は営業損失()	22,732	9,275	1,507	13,265	43,767	(305)	43,461

前年同四半期(平成18年1月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	168,336	89,160	49,904	84,456	391,857	-	391,857
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	49,657	17,089	2,405	535	69,686	(69,686)	-
計	217,993	106,249	52,309	84,991	461,544	(69,686)	391,857
営業費用	197,323	97,393	53,930	79,702	428,349	(68,711)	359,638
営業利益又は営業損失()	20,669	8,856	1,620	5,288	33,194	(975)	32,219

補足資料

1. 当期の業績 (単位：億円)

	平成 19 年度第 1 四半期	平成 18 年度第 1 四半期
売上高	3,900	3,919
営業利益	435	322
経常利益	413	324
当期純利益	294	213
純資産	10,192	8,861
1 株当たり当期純利益 (円)	25.11	18.20

2. 主要項目 (単位：億円)

	平成 19 年度第 1 四半期	平成 18 年度第 1 四半期
設備投資	637	528
減価償却費	303	295
金融収支	38	31

(単位：億円)

	平成 19 年度 第 1 四半期末	平成 18 年度末	平成 18 年度 第 1 四半期末
有利子負債残高	6,110	5,749	5,532
D / E 比率	0.60	0.58	0.56

3. 平成 19 年 12 月期の業績予想等

(平成 18 年 12 月期決算発表時 (平成 19 年 2 月 5 日) の予想から変更はありません。)

(単位：億円)

	通期	上期
売上高	16,700	8,100
営業利益	1,800	850
経常利益	1,700	800
当期純利益	900	440
設備投資	2,400	
減価償却費	1,350	
研究開発費	350	

4. 事業セグメント別業績予想

(平成 18 年 12 月期決算発表時 (平成 19 年 2 月 5 日) の予想から変更はありません。)

(単位：億円)

	売上 (通期)	営業利益 (通期)
ガラス	8,300	530
電子・ディスプレイ	5,000	1,150
化学	3,100	100
その他	900	20
消去又は全社	600	0
合計	16,700	1,800

5. 為替レート

	平成 19 年度第 1 四半期		平成 18 年度第 1 四半期		平成 18 年度通期		平成 19 年度通期
	期中平均	期末	期中平均	期末	期中平均	期末	予想
円/ドル	119.41	118.05	117.16	117.47	116.40	119.11	115
円/ユーロ	157.26	157.33	140.92	142.81	146.87	156.50	150